

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

固定資産課税
台帳の縦覧

あなたの財産を
お確かめください

三月二日から二十三日まで

平成四年度の固定資産(土地・家屋・償却資産)課税台帳を次のとおり縦覧に供します。お確かめください。

- 期間 三月二日から三月二十三日まで(二十一日間)
- 時間 役場の執務時間内
- 場所 役場総合窓口

問い合わせ下さい。

☎〇二五―二六六―〇〇四七

四月一日から「育児休業等に関する法律」がスタート
いよいよ、この四月一日から育児休業法がスタートします。その内容は次のとおりです。

- 一歳未満の子を育てる男女雇用労働者は
・育児休業を申し出ることができ、
・事業所が設ける勤務時間の短縮等の措置の適用を申し出ることができ、
・規模三十人以下の事業所は三年間、右の適用が猶予されます。
- 日時及び会場
小出会場
三月十六日(月)
午後一時三十分～四時
於 新潟県小出合同庁舎
申し込み先
県商工労働部労政課(☎〇二五(二八五)五五一一又は新潟少年室(☎〇二五(二六六)〇〇四七へ電話で。)
- 主催
新潟県・新潟少年婦人室

乗車券の「発売時間」が変わります
三月十四日(ダイヤ改正)から

JR・越後川口駅

JRでは、三月十四日からダイヤを改正します。これとあわせて、越後川口駅での乗車券等の発売時間(終日発売)が次のように変わりますので、お知らせします。

乗車券等の発売時間

午前七時から午後八時まで

なお、特急券・指定券は早めにお買い求めくださるようお願いいたします。

県立小出高校
定時制二次募集

願書の受付
三月二十一日(土)～二十五日(水)正午まで

学力検査日及検査教科
三月二十六日(木)

国語、数学、社会

当日の受付

八時三十分～九時まで

合格発表

三月二十六日(木) 午後五時

出願手続き

在学(出身)中学校又は小出高校定時制(☎〇二五七九―二二〇二二〇)に問い合わせください。

軽自動車税………

バイク・耕うん機・軽四輪の「廃車届・名義変更届等」の手続きは……3月中に!!

軽自動車税は、毎年4月1日に所有していた人に課税されます。

バイクや軽四輪を売買、廃車しても手続していただかないと、廃車済と誤って車や、他人のものとなっている車の税金を自分で納めなければなりません。手続きの済んでいない方は、お早めに届け出しましょう。

- ※手続きは――
・125cc以下のもの………役場財政課
・125ccを超えるもの……購入店などで手続きをしてください。



2月23日(日)
田麦山小学校スキー大会
「ミカン拾い」

今年は暖冬!!スキー大会も危ぶまれたが?この日、積雪は約1mに達し上々のコンディションの中で行われた。お父さんやお母さんも参加し、レースやレクリエーションに見物たちは大張り切り、楽しい1日を過ごした。
(ちなみに昨年の同日現在の積雪は約2m)

おもな内容

- 高齢者生産活動施設がオープン………2～3
- ふるさと創りと人材育成に向けて………4～5
- 環境美化・ポスター・書き初めで表彰………6～7
- スポーツコーナー………8～9

- みんなのコーナー………10～11
- 明るい家庭づくり作文コンクール………12
- 保母さんの自作自演の人形劇………13
- お知らせコーナー………14～16

人口	6,423人	平成4年2月20日現在
男	3,147人	
女	3,276人	
世帯数	1,526戸	



▲「しめ縄講習会」
高齢者生産活動施設のオープンを迎えて、早速しめ縄づくりに取り組むお年よりの皆さん。
講師に白倉しめ縄生産組合（川西町）の皆さんを招き、手ほどきを受けながら、一生懸命しめ縄づくりに取り組んだ。

る特産品やアスパラ、各種農産物の集出荷をはじめ、ワラ細工、民芸品等の作製などに取り組み、その本格的な生産活動の軌道に向けて、生産・加工体制、販売、市場調査、就業者の確保にあたるなど、就業機会の拡大を図ることとしている。

また、就業者のバスでの送迎をはじめ、加工技術の習得のための研修や勉強会を行うなど、就業者の便宜や生産性の向上を図るとともに、町特産品の開発などにも取り組み、高齢者に潤いと活力に向けての積極的な取り組みが行われる。

農地流動化による農地の有効利用

作れない人は貸して農地の有効利用

出し手の
メリット

1. 期限がくれば離作料なしで確実返還
2. 農地法の許可不用

作れる人は借りて規模拡大

受け手の
メリット

1. 安心耕作、規模拡大
2. 機械の効率利用
3. 生産コストの低減

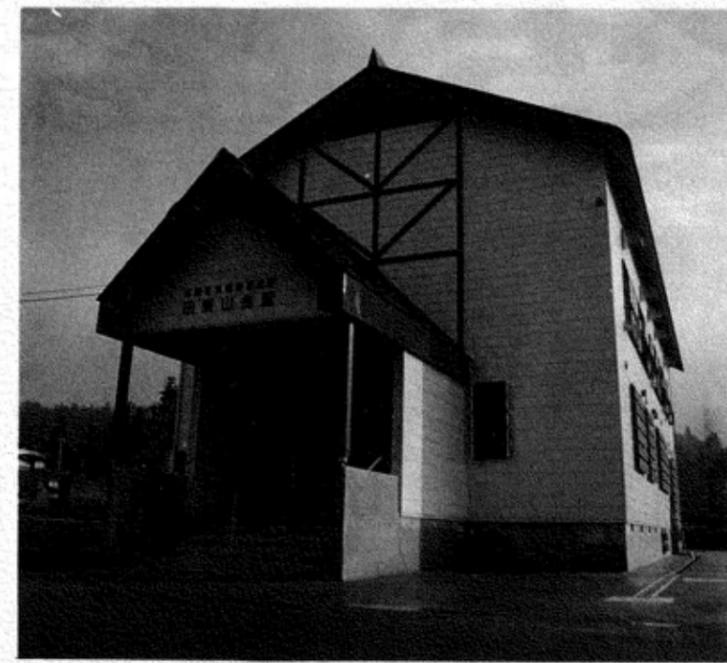


従来、農地はいったん貸すと地主は期間がくると、必ず貸した農地が返るとい保障があるので、安心して次の貸し借りに入れます。こうして短い貸し借りを繰り返すことにより、お互いの信頼も深まり実質的に貸借人に安定した耕作権を保障するのです。利用権で農地を集め、何回も貸し借りをすることにより規模拡大が実現されるわけです。そして段々と長期の賃貸借に移行していくわけです。

- 農地の移動については、すべて農業委員会の許可が必要です。
- 農地法第三条 農地としての売買、賃貸借、使用貸借等
- 農地法第四条 農地を自家作業場、物置等に転用する場合
- 農地法第五条 農地を他の人に売渡して住宅や資材置場とする場合には通常一〜二か月かかるので申請は早めにしてください。
- 農地の移動を無断で行わないますと農地法違反となり処分を受けることがあります。
- 農地法の許可を受けても登記しないものがまに見られます。未登記のままにしておくと後々問題が生じることがありますので、必ず登記まで完了させて下さい。
- 農地についての相談は地元農業委員または農業委員会事務局(役場産業課内)で受付けています。

農用地利用増進事業
による利用権とは
安心できる農地の
貸し借りです

農地の移動に注意



▲「高齢者生産活動施設」が完成
立派な施設がオープンした。

今年度の町の重点事業の一つとして、田麦山地区で建設が行われていた「高齢者生産活動施設」が完成し、このほどオープンした。高齢者の就業の場、生きがい対策、雇用の拡大、地域農業の振興など、農村地域活性化の拠点の一つとして、大きな期待が寄せられているとともに、県内では初めての施設として注目されている。

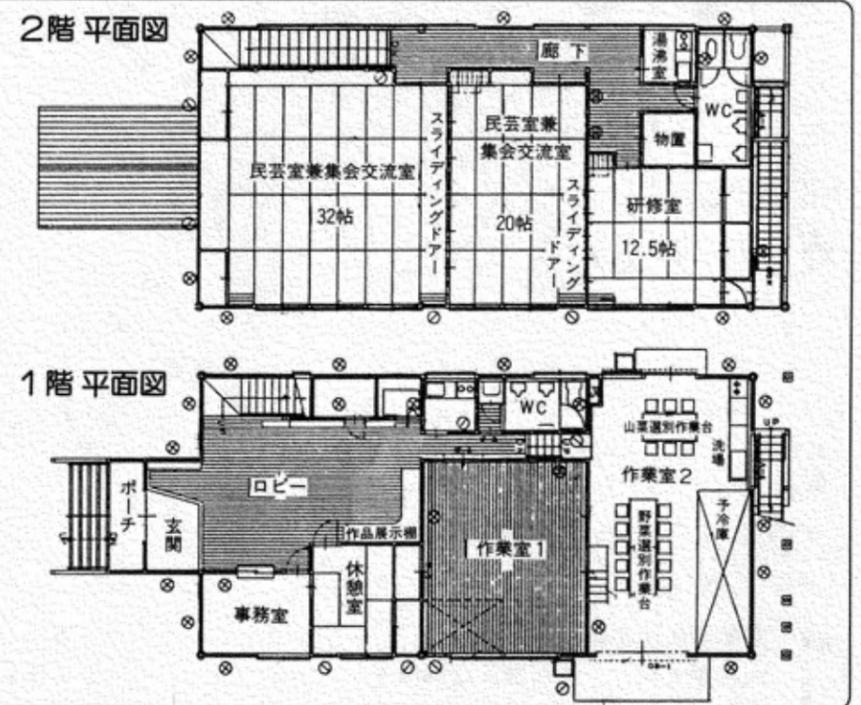
高齢者生産活動施設が 県内では初めての施設

高齢者に潤いと活力

同施設は、県の補助事業(山間地域農地流動化条件整備事業)を導入して建設が行われ、山間地域の農地流動化を促進しながら、これに対応した就業施設の整備を行い、就業機会の拡大を図るなど、生産性の高い山間地域農業の実現を目指す同事業の一つとして、県内で初めて当町に導入された施設です。

建物は木造二階建てで、二階は「集会所」の機能も有し、農産物や町特産品の「集出荷場」、「生産加工施設」が整備され、コミュニティの場として、就業機会の確保の場としての、一石三鳥の立派な施設が完成した。

「集会所」、「集出荷場」、「生産加工施設」を備えた一石三鳥の施設



総事業費は約五千七百万円。なお、同施設の建設にあたって、同地区の中心的な集会所「田麦山生活改善センター」の老朽化が進み、その改築が地元から強く要望されていたもので、同施設の完成により地元では大きな喜びでオープンを迎えた。

高齢者の
生きがい対策を
推進

町では、この施設の運営にあたり、同施設を有効に活用した高齢者の生きがい対策に力を入れるとともに、モロヘイヤ等の転作田から生産され



▲総会で講話を行う青柳町長

川口町のあしたを創造する 審議会(明創審)総会

各専門部会活動状況報告 意見交換を行う

川口町のあしたを創造する審議会(山下会長)は二月四日サン・ローラ川口で総会を開き、各専門部会における活動状況報告を行い、今後の取り組みなどについて意見交換を行った。

ふるさと創りと 人材育成に向けて

開会にあたり山下会長は、これから本格化する労働力不足や高齢化問題など、かつて経験したことのない厳しい状況を迎える。身近かで、できることから手を打っていかなくてはならないが、こうした中で同審議会は時を得た会であり、いろいろな知恵、工夫を出しあって川口町が発展していくよう創造してもらいたいと述べ、情熱をもってやっていきたいと挨拶した。

専門部会の活動状況について、各部長が報告を行い、



▶「情熱をもってやっていきたい」と挨拶する山下会長

第一専門部会

◎検討事項

①リゾート開発について
②現在の問題点

・ 社会環境の変動(バブルの崩壊)

・ 自然保護と地域活性化の調和

・ 大手企業の経済理念の優先

③川口町にふさわしいリゾート

・ 町独自の資源を活用する

・ 既存施設の有効利用を図る

◎今後の活動方針について

①視察をふまえて

・ 視察をしてみると、どの地域も自然などの独自の特色を生かして、地域づくりやイメージづくりをしている。

・ 地域の見直しや掘り越こしをする必要がある。

②取り組み

・ 「写真展」などにより、郷土を見直し、新しい地域の魅力を発見し活用を図る。

・ 施設の規模拡大が必要
(オートキャンプ場、宿泊施設)

・ 付帯施設の充実が必要
(花・トイレ・木蔭・東屋)などが上げられた。

◎視察について

同部会では、長野県の「飯網高原」と「斑尾高原」、県内の「妙高バイナバレー」の三カ所の視察を行っており、その結果について、三つとも立派な施設であるが、長所、短所もあり勉強になったこと、そして、リゾート開発にあたっては、開発と町の発展が、直接結びつくように意見を進めたいと考えていることなどが報告された。



▲「第一専門部会」リゾート開発について報告を行う阿部 部会長

第二専門部会

第二部会では、①各課の担当事務、②リゾートと都市計画、③街なみ整備を検討事項として進めてきており、この中で次のような報告が行われた。

- 子供たちが住みたい町づくりを目指す。
- 人口は横ばいであるが、人口を増やしていきたい。
- 人口が少ないと仕事もうまくいかない。
- 嫁不足が深刻(二十代、四十代)

この中で、三十代から四十代の後半になっても嫁さんが見つからない。同部会ではこれを大きく取り上げ、取り組



▲「第二専門部会」嫁さん問題でイベントを行いたいと報告を行う渡辺部会長

みを行う。

● 出会いふれ会いバスツアーの企画と実施。

● 視察研修の実施

● 地区の活性化

例えば年間を通してできるスケート場、行列ができるラーメン屋など、川口でなければ楽しみや味わえない町独自のものを起こしていきたい。

● 町並み整備促進協議会
住環境、水準の向上を目指す。

また、この中で、人口の増加、大会社の誘致、雪に強い町づくりなどが報告され、そして同部会では、若い皆さんのUターン大歓迎をテーマに、今後頑張っていきたいと報告した。

第三専門部会

第三部会では、①生涯学習の現況等、②スポーツ、③文化、④町の行政組織、各課の業務などの検討や学習に取り組んでいる。

特に報告の中で、学校の週休二日制に対応した、スポーツの振興について意見発表が



▲「第三専門部会」内藤部会長

行われた。

第四専門部会

第四部会では、「特別養護老人ホーム」の建設について検討を行っており、特別養護老人ホーム小栗田の里や小千谷市西山斎場などの社会福祉施設や衛生施設の視察について報告した。

この中で、身近な施設の視察を通じて勉強になったことが沢山あり、大変よかったことが感想として述べられ、今後の活動として、視察研修で学んだことを基に、これから町がやろうとしていることを知りながら、町づくりにつ



▲「第四専門部会」視察研修を基に勉強していきたいと報告を行う岡村部会長

なお、各部会の報告に先立ち、青柳町長の講話が行われ、健全財政の確立や減税政策、基金など、町行財政全般について話を聞き勉強を行った。

いて勉強していきたいと報告した。

◎施設の研修視察施設名

- ①小千谷地域広域事務組合施設(清流園、時水清掃工場、消防本部)
- ②小千谷市西山斎場
- ③特別養護老人ホーム小栗田の里
- ④下水道長岡浄化センター(県下水道公社)
- ⑤長谷川邸(越路町国指定重要文化財)

この中で、公共下水道、集落排水などの下水道整備や高齢化社会を迎えて、公共投資が行われる中で、受益者負担に係るものについては、負担が増加しないよう努めていることや、これまで進めてきた定住構想の条件整備により、定住構想の先進地として、全国から六〇〇を超える市町村・団体が当町を訪れ視察をしていること。また、新年度に計画されている高齢者生活福祉センターの建設と、これと併設して建設される健康センターについて説明を聞くなど、行政の取り組みについて学習した。

最後に質疑、意見交換が行われ、視察研修について、「百聞は一見にしかず」他の町村の施設を見ることが大切であることや、ディーサービスの来年度実施、商店街の活性化に向けた行政の対応などについて意見交換がもたれた。また、町長から特に、明日の川口を創造する会から、今日のことを知りつくして、明日を考える。そのために視察研修を積極的に、勉強してもらいたいと、同審議会の活躍に期待を寄せた。

川口小学校が

環境美化教育 実践優良校に



空き缶の回収など、リサイクル運動を通して、地域の環境美化活動に取り組んでいる川口小学校が、県の推せんを受けて、環境美化教育・実践優良校に選ばれ、その表彰状の伝達式が二月十二日、役場で行われた。

この表彰は、空き缶や空きびんなど、捨てられた容器による環境問題に取り組んでいる、社団法人食品容器環境美化協会が、美化運動の一つとして毎年行っているもので、今回は全国で五十二校が選ばれた。



▲環境美化教育・実践優良校表彰の「伝達式」
児童とPTAの代表者が出席して行われ、
青柳町長から表彰盾が伝達された。

児童とPTAが協力して

優良校に選ばれた川口小学校は、プルリングとアルミ缶などの回収を行い、リサイクル運動を展開。運動を通して児童とPTAが一緒になり、地域の美化活動に積極的に取り組むとともに、社会教育の一環として、児童の社会参加に取り組みなど、美化教育と実践活動を進めてきており、これまでに大きな成果を上げている。昨年は、同校の統合三十周年を迎え、その記念事業の一つとして、アルミ缶などの回収による販売代金で、車イス二台を購入し、町に寄贈するなど、リサイクル運動による、社会福祉にも貢献している。

この日、伝達式に児童・PTAの代表が出席。青柳町長から児童会長の浅間敏一君に表彰の盾が贈られた。町長から「努力が報いられてめでとう」と祝福を受けて、浅間君は「これからも空き缶回収を続けていきたい」と喜びを語り、美化活動の取り組みに意欲を燃やしていた。

四月一日から火災予防条例の一部が変わります

この度、火災予防の強化を図るため、火災予防条例(小千谷地域広域事務組合・小千谷市・川口町・山古志村)の一部が改正され、この四月一日から施行されます。その主な内容は次のとおりです。

- ① 火を使用する器具、設備について
 - 液体燃料(灯油、軽油等)、気体燃料(都市ガス、プロパンガス等)、電気を熱源とする設備類の「点検安全装置」、「立ち消え安全装置」、「過熱防止装置」などを設けなければならないこと。
 - 一定規模以上の厨房設備における、排気ダクトに「グリクフィルター」、「防火ダンパー」、「自動消火装置」などを設けなければならないこと。
 - 内燃機関によるヒートポンプ冷暖房機、放電加工機、発電機設備などについて、新しい基準が設けられたこと。
 - また、これらの火を使う設備などの点検、整備は、一定の資格を持った者でなければならないこと。
- ② 火の使用制限について
 - 重要文化財等の周囲や内部で火を使うこと、危険物の持ち込みの禁止に加え、喫煙等も禁止することができること。
 - 空家火災の防止のためにその所有者や管理者は、人が出入りできないように、鍵をかけるなどの管理をするよう義務付けられたこと。
- ③ 避難管理
 - デイスコ・ライブハウスなどの施設において、災害が発生した場合、特殊照明や演奏の停止、非常口の開放などが自動的に又は容易にできるようにしなければならないこと。
 - なお、排気ダクトのグリクフィルター、防火ダンパー等の基準については、平成五年三月三十一日までに改善しなければなりません。
 - 詳しいことについては、消防本部(☎八三二二二二)に予防課まで。

交通安全ポスター

山田 加菜さん(川小一年) 県警本部長賞を受賞

れました。

特別賞は四年連続 川口小は 優秀学校賞に

平成三年度新潟県小中学生交通安全ポスターコンクールは、農業協同組合と県生命共済農協連合会が主催、県教育委員会と県警察本部、各新聞社などが後援して行われ、約三千点の応募作品の中から、川口小学校一年山田加菜さんの作品が県警本部長賞に選ば

特別賞は県知事賞、県教育長賞、県警本部長賞の三賞があり、各学年ごとに三賞のうちの一つが選ばれることになっており、加菜さんの作品は小学一年の部では最高の賞となつています。

今回で六回となるこのコンクール、当町から特別賞入賞は四年連続で加菜さんが六人目。新潟市で行われた表彰式で賞状を手にした加菜さんはうれしそうに顔をほころばし



▲喜びの加菜さん

ていました。このほか個人の入賞は六人、また、川口小学校が、優秀学校賞の一枚に選ばれました。

全国展でも入賞

県コンクールで特別賞となつた加菜さんの作品は、全国コンクールに出品されてこども銅賞に輝き、県内ただ一人入賞の栄誉をうけ、川口小学校も同じく優秀学校賞となりました。なお、当町からこのコンクールでの全国入賞は二回目、加菜さんが二人目となっています。

県コンクール入賞者

県警本部長賞

- 山田 加菜(川口小一年)
- 金賞 関 亜紀奈(川口小二年)
- 銀賞 喜多村祐美(川口小四年)
- 銅賞 飯塚 有希(川口小二年)
- 佳作 服部 麻美(川口小六年)
- 星野 和恵(川口中一年)

県書き初め大会 で特選

平沢 寛美さん (川中)

の作品が特別賞に

新潟県書道教育研究会主催の県書き初め大会で、川口中の平沢寛美さんの作品が特別賞の特選に選ばれました。この大会は県内から九万点



余の作品が応募され、寛美さんの作品に大賞、準大賞に次ぐ特選となったもので、寛美さんは昨年この大会で準特選を受賞しています。

郡展では

平沢 烈くん(川小)

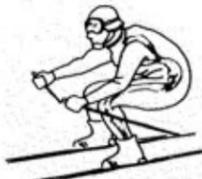
北魚沼郡小中学生書き初め展で、当町から次のとおり入賞がありました。

特選、書道研究会賞

川口小学校三年 平沢 烈



▶郡書き初め展で特選に選ばれた平沢君の作品



中学校スキー大会は、少雪に悩まされながらも順調に日程が消化され、県大会において川口中学三年の佐藤秀明君が昨年と同様にアルペン種目で大活躍し、大回転競技で優勝、回転競技準優勝の快挙を成し遂げました。

郡大会はアルペン種目だけで、佐藤君を除く三選手が出場して、それぞれ順当な成績をあげて中越大会へ進み、中越大会のアルペン種目では、佐藤君を含む三選手が回転競技で上位に食い込み、大回転競技は予想に反して上位を他に譲りましたが、三人そろって県大会の出場権を得ることができました。

純ジャンプは少雪のため中止となり、複合競技は距離競走のみが行われ、三選手が健闘しました。

県大会で実力を示す

県選抜総合体育大会を兼ねた第三十五回県中学校スキー大会

第35回県中学校スキー大会

県大会

大回転で優勝

回転は準優勝

佐藤 秀明君 (川中)

が快挙!!



大回転で二連覇を達成した佐藤君。全国大会出場が決まり、その活躍が期待されている。ガンバレ！佐藤くん。

大会は、アルペン種目は北魚須原スキー場で、他種目は中魚グリーンピア津南クロスカントリーコースと南魚石打丸山ジャンプエで行われました。アルペン種目は、昨年の大回転と大回転競技の二冠を制した佐藤秀明君に、連覇の夢と大きな期待が寄せられているところとです。

一本目巧みなスキー操作で約一秒の差をつけてラップを奪いましたが、二本目の合計タイムで〇・〇三秒のわずかな差で優勝を逃したのは本当に残念でした。大淵貴幸君と星野博之君の二人が十二位と十四位につけて、成長ぶりをみせました。

大回転競技は、佐藤君が急斜面、緩斜面ともうまくスピードに乗り、他を寄せつけずに優勝して県大会二連覇を飾り、エースの底力をみせてくれました。星野君は十六位に入りました。

純ジャンプ競技は、渡辺君ががんばって十五位に、複合競技では渡辺君が前半のジャンプで四位につけて期待がかりましたが、後半の距離競走で記録がのびず、総合で二十位にとどまったのが惜しまれます。

川中 全国大会に五年連続出場

川口勢は、昨年と同じように郡、中越大会よりも本番の県大会で実力を発揮して、県下にその名を示し、川口中学の県大会優勝数は三人で五種目となりました。佐藤君は長野県野沢温泉村での全国大会に出場し、当町からは五年連続の出場となります。大淵君と星野君は来年の活躍が期待される所です。

なお、中学校スキー大会(郡大会・中越大会・県大会)の結果は次のとおりです。

中学校スキー大会結果

〈郡大会〉	回転	4位 大淵 貴幸(二年)	
		5位 星野 博之(〃)	
		35位 小山 洋一(一年)	
	大回転	5位 星野 博之	
		6位 大淵 貴幸	
		40位 小山 洋一	
	〈中越大会〉	回転	3位 佐藤 秀明(三年)
		6位 星野 博之	
		13位 大淵 貴幸	
		11位 佐藤 秀明	
		16位 星野 博之	
		58位 大淵 貴幸	
	複合(距離のみ)	17位 渡辺 奨(三年)	
		22位 覚張 祐樹(一年)	
		23位 小西 広孝(一年)	
	〈県大会〉	回転	2位 佐藤 秀明
		12位 大淵 貴幸	
		14位 星野 博之	
		大回転	1位 佐藤 秀明
		16位 星野 博之	
		純ジャンプ	15位 渡辺 奨
		複合	20位 渡辺 奨
		クロカン男子	1位 星野 博之(二年)
			2位 大淵 貴幸(〃)
		クロカン女子	2位 関 真矢(一年)
			2位 桜井 祐一(二年)
			4位 関 耕二(〃)
		リレー	4位 丸山麻美子(二年)
			5位 小林 美佐(〃)
			6位 山田 泰子(〃)
			2位 川口中男子
			4位 川口中女子

郡小学校スキー大会

クロカンで二年連続優勝

関 裕樹くん

(川口小六年)



優勝した関くん

本年は少雪のため全般的に練習不足で、雪の多い入広瀬村をはじめ只見線沿線の学校がすべて上位を占めたのが大きな特徴となりました。入賞者は次のとおり。

入賞者

クロスカントリ

六年男子

- 1位 関 裕樹(川口)
- 11位 浅間 敏一(〃)
- 14位 大淵 和幸(田麦山)
- 18位 桜井 新三(〃)
- 六年女子
- 16位 真島 文恵(川口)
- 17位 桜井亜由美(田麦山)

五年男子

- 10位 森山 雄治(田麦山)
- 14位 岡村 崇志(川口)
- 15位 涌井 一義(田麦山)
- 16位 佐藤 郁夫(川口)
- 18位 大淵 俊彦(田麦山)
- 19位 岡村 英尚(川口)



▲「郡小学校親善スキー大会」 郡内18校から5、6年生610人の選手が参加。

郡中新人戦で川口勢が活躍

郡内の中学一、二年生による新人スキー大会で、川口勢が活躍し、星野博之君がアルペン競技で二種目に優勝しました。入賞は次のとおり。

大回転	1位 星野 博之(二年)
	4位 大淵 貴幸(〃)
回転	1位 星野 博之(二年)
	2位 川口中男子
	4位 川口中女子

高校スキーでは笹崎貴之君が活躍

県高校スキー大会と県スキー選手権大会で、当町の笹崎貴之君(塩沢商工高校二年)がアルペン種目で上位入賞を、インターハイと国体の二つの全国大会に出場しました。

笹崎君は、一月に妙高高原町で行われた第四十四回県高校スキー大会(兼インターハイ県予選)で、回転競技の六位に入賞して昨年に続いて全国大会出場となったもので、インターハイは鳥取県大山スキー場で行われました。



また、第四十七回国体冬季スキー競技会の予選を兼ねた県スキー選手権大会は、妙高高原町の赤倉チャンピオンスキー場で行われ、笹崎君は大回転競技の少年の部に出場して四位に入賞、山形県蔵王での国体に出場しました。笹崎君は川口中学時代からスキーがうまく、常に県大会で上位に入賞しており、二年生のときに全国大会に出場した実力の持主。これから期待されます。

みんなの「コーナー」

かわぐち俳壇

—老人クラブ俳句教室の作家たち—

枝おろす音のしみゆき山眠る
八十年住みて雪國ここがよき
やぶれたる障子そのまま明の春
新玉と云いと今年も手鍋さげ

寒入りと思ひぬ今日のあたたかさ
雪國を忘れたように雨が降る
冬ごもり木の温もりに包まれて
冬の夜の犬啼寄りて目覚めけり
八海山浮立つように冬日和
水仙を挿して仏間に灯をともし
倅は孫の手をひき初茜
少し首かしてて父子の雪だるま
年の瀬にバイトに行く娘いそいそと
湯宿より一夜の縁の賀状かな
灰色の空に一閃雪おこし
足元のぐうぐうと鳴り冴返る
孫曾孫九人揃って手迎う
なつかしきわらぐつの跡社まで
年酒くむ酢午夢の酔の強きかな
餅花の枝のりリアンすこし揺れ
雨だれに艶よく光る龍の玉
軒下にこんもり繁る龍の鬚
昔よかおせち料理の手もぬいて

丸山以外史
同 内山松月
同 宮 ミヨ
同 星野史由
同 小宮山トキ
同 小宮山ミチ
同 星野紗都女
同 星野七朗
同 関 紫苑
同 山田チヨ
同 山田マス
同 小西シゲノ

めおとらし庭に仲よく寒雀
民宿のあるじ即ち炉辺の主
杉の秀の黒き尖りや寒の雨
どんどん火するめ焼く人餅焼く子
老寄の頬被して雪を掻く
威勢よく篝火燃ゆる初詣
嬉しさは八十路越えての初仕事
山眠るえん堤よりの水の音
簡略に挨拶すます小正月
庭石の黒く光れる初日かな
字のよめぬ孫にも賀状とどきけり
雪晴や信濃川澄み大曲り
枯枝のけぶるごとくに里の山
年の夜の干さぬ盃もらひけり
行く年や胸におさめし老の酒
古寺のいろりにたぎる大茶釜
會いなくも書きつづける年賀状
雪降らず年始廻りもかろやかに
寒の雨降りて川水ささにごり
裸木や機窓の日のすぐ逃げる
もてなしの燠掻き上げ切炬燵
寒菊の生絹の如き白さかな
ふつくらと日溜りの木に寒雀
ひ孫たち帰ってゆきしこたつかな
心に句養ないつつも雪の道
ぶらさがり用なき裸寒の入り
活けてある花も春待つ心かな

歯固めの干柿白粉厚々と
雪踏の道具夫婦が共用で
雪國の雪の来ぬ間の山眠る
年取りの朝より雪になって来し

同 星野雪車
同 大野若菜
同 内藤一峯
同 星野一夢
同 星野きの
同 三輪京子
同 喜多村キヨ
同 喜多村イマ
同 喜多村 暁
同 智 恵子
同 新宮山柴
同 星野修庭史
同

俳句はほんとにボケ防止になります

人間の脳を分類した区分に前頭葉というところがあります。おでこのあたりです。二十歳を過ぎると脳細胞は少しずつ減少するといわれています。前頭葉だけはへらないうのだからです。この前頭葉は主としてロマンを司るのでそうです。音楽を聞く、習う。踊りからおけ、家庭のだらん。友情恋愛(?)書道詩吟、花を育てる、孫と遊ぶ。仕事の中にも楽しみをもつ。美しいものを見る。読書。いくらでもあると思います。いわゆる夢があるという世界でしょうか。なにかなく、詩歌俳句を読み自分で創作するなどは、すばらしいロマンだと思います。もうこの年になっての遠慮は禁物です。ロマンこそ老年が、若者に負けないで勝負の出来る唯一の世界です。前頭葉をフルにつかうことが脳の他の部分にもよい刺激を与え、ボケ防止にも健康な長生きにも通じるのです。俳句を楽しむ、とどろんと作って参りましょう。生涯学習とはまことに楽しい道です。(修庭史)

善行を賞える 気風(フク)



通称トオスケ坂

西川口に通称トオスケ坂と呼ばれる坂道があることは、少なからぬ人達の御存知のことだと思います。車の通る坂はまあまあですが、近道として造られたコンクリート製の階段道路があります。もとは土の坂でしたので、これだけでも行政の有難さを感じているのですが……嘗って当地の集会で、町行政に要望があったら発言して下さい。という議題がありまして、有志から色々卓越した御意見が出されました。私は雰囲気柔らかげな意もありまして、「これは冗談です」の前置きの上で茶目て「どうも年を取ったら足が弱くなって、トオスケ坂の階段が骨が折れるようになったので、これをエスカレーターにして貰ったらどうか」とシヤベツて一同から喝采を拍したことがあります。夏場はともかくとして冬場、雪が積も

ると下りはスケート宜しく、上りは這い上る状態です。某日、用に出掛けて帰りが遅かった。あたりは黄昏といふよりは、もう薄暗い。一人の男性が黙々として、この階段の除雪作業をやつて、コンクリート肌を出していた。「やあー御苦労さん」はあー退屈凌ぎですよ。「あんた奉仕ですか」「そんなもんじゃない、体力減退防止にでも役立てばと思つてね、余計な事と言われらるかも知れないが……」年の頃なら五十才前位いか、間違つていたら御免なさい。なんと謙虚な言い廻しでしょうか、すっかりこの人柄に魅了されたことでした。「仲々出来ないことですよ」「若い者は車だし、ここを通るのは子供や老人だからね」「表彰ものですよ、どこの方ですか?」「やあー俺はお前さんをよく知

一人の男性が黙々と階段を除雪

私は一瞬、脳裏に閃めくものがありました。そう言えばこの所、数年来この坂の雪道がよく整備されていた。私など雪道は時たま歩くだけだけれど……雪の少ない時などは、コンクリート肌を出してあることもあった。こんな場合、物ごとに疎い私は、役場―業者―若い衆。又は、部落―役務者と、こんなルートを考えてたこともあったが、それとても積極的に考えるでもなく、漠然と傍観してました。今の時間帯ではその両者でもない。「はてはこの御人であつたか」と目の前のクス玉が開かれて、眼前がパァーっと明るくなるような真に暗夜の閃光を見たのです。折りしも下から昇つて来る人影がありました。「列列行の雪道で人様の邪魔になつては済まないよ、善行の人に一瞥して別れました。ふり返れば彼は又黙々と

能とは心得てはいません。物心両面あつてこそ人々のなりわいのすべがあると思います。戦前を唯心とするならば戦後は唯物、どちらか一方的に傾いてしまふのがこの世の常で、中道のむずかしさがそこにあると思ひます。大きな例では統制経済と自由経済、又は個人と全体との調整、等々いくつかの例をあげることが出来ます。戦後約四十五年、一世を風びしてしまつた唯物万能の世相、心を失い物だけが横行するこの風潮を、なげかわしくさえ思つている一人です。Hさん、テレてこのことを

この「みんなのコーナー」では、地域の話題や行事、できごとなどを自由に投稿してもらい、紹介するコーナーです。皆さんからの寄稿をお待ちしています。

平成四年二月稿
原新田 小西五十治 (66)

町の教育委員会と教員協議会が行った明るい家庭づくり作文コンクールで、泉水小学校二年の広井なつえさんの作品が特別賞に選ばれました。

自分と家族のかかわりなどをテーマに

このコンクールは、家庭のようすや親の仕事、自分と家族のかかわりなどをテーマに募集したもので、作文を書くことによって、家庭生活のあり方や家庭における自分の役割について考え、明るい家庭づくりに参加する態度を身につけることをねらいとしています。

明るい家庭づくり作文コンクール特別賞に

広井なつえさん(泉水小二年)



入賞者
教員協議会長賞
泉水小二年 広井 なつえ

「こぶ取りじいさん」
なつた
くさりあみ

「こんなむずかしいのできないよ。」
「やってみれ。おばあちゃんだってはじめはうまくできなかつたけどずっとれんしゅうしたからうまくなったんだよ。」
「うちのおばあちゃんは、ほんとにあみものがじょうずなんです。でもいそがしいから、長い時間をかけてすこしずつあんでいきます。きょう年はちよつきができました。おねえちゃんもおばあちゃんにおそわってマフラーをつくりたいといっているのです。」
わたしは、思いなおしてまた、がんばってあみはじめました。はじめはうまくできなかつたけどやっているとちよだんだんくさりの大きさもそろうようになりました。
おばあちゃん、にこにこ顔で「さつきよりじょうずになっただね。」
とほめてくれました。
くさりあみだけではつまらないのでなにかほかのものもつくれるかなあと思って考えました。そしたら、いいもの

思いつきました。それはあやとの糸をつくることでした。さっそくわたしは、あみはじめました。少しあなが大きいくさりもあつたけど七十七センチくらいあやとの糸がじょうずにできました。わたしは、先生にもつくってあげたらきつとよろこぶと思ってあんでみました。先生のは、すこく長くできました。学校にもって行ったら先生は、「わあ、うれしいありがと。」
「わあ、うれしいありがと。」
「くさりあみのあやとりはすこくやりやすくていいな。なんでもできちゃうよ。」
と、いいました。
先生がよろこんでくれてうれいな。くさりあみをおぼえてよかつたなと思いました。うちのおばあちゃんは、何でもできちゃうスーパーパーおばあちゃんです。
こんどは、何をおしえてもらおうかな。
やっぱり、あみものをつづけることにしよう。くさりあみだけじゃなくて、いろいろなあみ方にちようせんすることにしよう。

保母さんが

創作劇を上演!!

自作自演の人形劇

町の保育所に勤務する保母さんが、手作りの人形を使って幼児向けの人形劇を創作、町内の保育所を巡回上演して好評をよみました。
自分たちの手で劇をつくって園児に見せようと、保育研究会の年中児部会が担当して、



劇「こぶ取りじいさん」
等身大のぬいぐるみ人形を巧みに動かし、迫力の演技に園児や参観者から大きな拍手を受ける

夜遅くまでリハーサル

六月頃からシナリオ書きと

人形作りが始まり、舞台小道具や音響効果も自作で用意、十二月から下げいこと本格的なりハーサルを夜おそくまで何回もやっつて上演にこぎつけたこと。

今年「こぶ取りじいさん」を上演

この度の劇は「こぶ取りじいさん」で、等身大のぬいぐるみ人形を使い、ぬいぐるみの中に入るのではなく自分が黒子になって人形を動かす方法が用いられ、大きな人形が保母の手足と同じに動き、一人で三連体の人形が動くさまはスケールも大きく迫力があつて、園児や参観者から大きな拍手をうけていました。保母さんたちも、苦勞の甲斐があつたと喜び、機会があつたら老人福祉施設などを訪問して、上演してみたいと話しています。

保母会ではこの創作劇を、魚沼視聴覚センター(南、北魚、小千谷地区)の発表会で毎年上演しており、昨年の棒人形による「ジャックと豆の木」は、参加演劇の中では大作で大きな評価をうけたところでです。
こうした保母さんたちの苦勞や活躍で、園児も心豊かな立派な子供に育ってくれることでしょう。



▲指導員(町スキー協会)の手ほどきを受ける参加者

初心者向け親子スキースクール 今年で二回目

小中学生と一般を対象にして、初心者向けの親子スキースクールが行われ、参加者は熱心に滑ることを学びました。昨年に続いて第二回目のこのスキースクールは、スキー協会の協力を得て公民館が主催したもので、今年も雪が少なく川口スキー場が使用できず、グリーンピア津南スキー

～親子のスキースクール～

場まで出向いて一月と二月に実施、幸いの晴天に恵まれて参加者はまっくらに日焼けするほど。協会指導員から手ほどきを受けて子どもたちはすく滑れるようになり、楽しい親子のスキースクールとなりました。

がん健診を 受けよう



亡くなられた方の 六十三%が 三大成人病

川口町で、去年一年間(平成三年一月から十二月まで)に亡くなった人は五十二人でした。その中で、三大成人病といわれている「がん」で亡くなった人が十六人、「脳卒中」で五人、「心臓病」で十二人の方が亡くなられ、全体の六十三%となっています。

また、各疾病の平均死亡年齢を見ると、がんが六十六歳で、次に脳卒中七十三歳、心臓病七十八歳、肺炎八十七歳と続き、がん死亡は他の疾病に比べて若く、非常に残念です。

早期発見

町では、胃がん・肺がん・子宮がん・乳がんの健診を積極的に勧めていますが、毎年受けて安心できるまでにはなっていないようです。病

病がないから、元気で体に自信があるから、と受けない理由は様々あるようですが、がんは、早期には症状がないので、病状を頼りにすることに無理があります。

毎年受けている人はもちろんのこと、私は大丈夫と思っている人で、一度も受けていない人は、是非健診を受けてください。ちなみに、平成三年における健診状況は次のとおりです。

●平成三年度の健診状況

- 受診者数及び発見がん数 (一)内
- 胃 一、一〇一人 (三人)
- 子宮 四二人 (〇人)
- 経過観察 三人
- 乳 三四九人 (〇人)
- 肺 一六〇人 (二人)

このように、健診からがん患者が毎年のように発見されています。早期発見、早期治療が最も大切です。健診は必ず受けましょう。

シートベルト着用推進 キャンペーンクイズ

シートベルトの着用効果の正しい理解と着用推進のためのクイズを次のとおり募集します。

■第一問

シートベルトなしで自力で耐えられる衝撃は時速約何kmの衝突?

- ① 7 km / H
- ② 27 km / H
- ③ 47 km / H

■第二問

平成三年中における全国の自動車乗車中の死者のうち、シートベルトを締めていなかった人は、約何%?

- ① 40%
- ② 60%
- ③ 80%

■第三問

自動車保険の塔乗者傷害保険に加入している場合、シートベルトを締めていると死亡保険金の額が、割増に

- ① なる
- ② ならない

■第四問

シートベルトをしなない場合は、違反点数制度の対象に

- ① なる
- ② ならない

●賞品

A コース 92 F1日本グラフィック

●応募方法
官製はがきに、希望の賞品コース名、クイズの答え、あなたの住所氏名、年齢、性別、電話番号、職業を明記のうえ、〒106 東京都港区西麻布三―二四―二〇 交通安全教育センター内 (財)日本交通安全教育普及協会「シートベルト着用推進キャンペーンクイズ」B係まで、お送りください。

●応募期間
平成四年四月一日(休)から四月三十日(休)まで

●応募締切
四月三十日(休) (当日消印有効)

●当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

●ヒント1▽
運転者がシートベルトなし

国民年金保険料 が四月一日から 九、七〇〇円に 変わります

国民年金の定額保険料が、四月分から九、七〇〇円になります。

国民年金を支払うための費用は、加入者の皆さんが納めた保険料と国の負担とでまかなわれています。ますます進展する高齢化社会にあって、長期的に安定した年金制度を維持していくためには、年金額とその財源である保険料のバランスを保つていかなければなりません。

ですから、年金額の引き上げや受給者数の増加に対応するためにも、保険料を毎年少しづつ引き上げていくことが必要になります。

それと同時に、物価の上昇があれば、あわせて保険料額も改定することになっていきます。これらを踏まえ、平成四年度の保険料は一月九、七〇〇円と決まったものです。なお、付加保険料は、今までと同様に一月四〇〇円です。

暮らしの ポイント

きれいに磨かれた窓ガラスは、気持ちのいいものです。しかし、いざガラスふきになると、意外に重労働です。手際よく、要領よくふくことがポイントです。

窓ガラスの掃除と磨き方

窓ガラスの水ぶきは、水を少し含ませた湿りぞうきんでふきます。水の跡が残らず、きれいにふけます。油汚れは、ガラス用の洗剤をスプレーし、その上から料理用のラップを十分程度張りつめます。ラップをはがして乾いた布でふけば、油が洗剤でゆるんでいるので、簡単に汚れが落ちます。ラップの代わりにティッシュなどの紙を使うと、ガラスに張りつき、はがすのがたいへんです。

窓ガラスの隈の汚れは、水に濡らした布に塩をつけてこすりましょう。塩が汚れを吸収する働きを利用したもので、汚れが簡単に取れます。模様があるガラスは、凸凹に汚れがたまり、水ぶきなどでは、なかなかきれいにしないものと

です。クレンザーを小皿で下口ドコに溶かし、歯ブラシにつけて、上から下に円を描くようにしてこすると、模様の凸凹にクレンザーが入り込んで汚れが取れます。後ま水ぶきし、さらに空ぶきして仕上げです。

ラップと塩で汚れ落とし

大きな窓ガラスを要領よく磨くには、ガラス用洗剤を×印に大きく吹きつけ、乾いた布を四角に畳み、洗剤をのばすように外側から内側に四角くふきまわす。そして空ぶきをします。



就学費の援助を 行っています

小中学校の児童・生徒にかかる学費を援助する制度があります。

●学用品費、運動用具費、医療費、修学旅行費、給食費等が該当し、困難な家庭には一定の割合で町が援助をいたします。平成四年度に希望をされる方は、次に申込み又はご相談ください。

●教育委員会、学校、地区の民生委員

四月から 「心配ごと相談日」 が変わります

毎週火曜日と金曜日に行われていた「心配ごと相談」の定例日が、四月から次のように変わりますので、お知らせします。

●心配ごと相談日
毎週月曜日と木曜日です。

コンピュータ・カレッジ
信濃川テクノ
アカデミー
学生募集

労働省所管のコンピュータ・カレッジ信濃川テクノ・アカデミーは、開校三年目を迎えるこの三月には第二回卒業生が社会に送り出されます。優秀な情報処理技術者養成校として、大きな期待が寄せられています。

●入学願書受付
三月二十七日(金)まで

●募集定員(全日制二年)
情報ビジネス科 五十名
情報システム科 五十名

●選考日
三月七日(土)・二十一日(土)・二十八日(日)

●学校説明会
二月二十三日(日)
午前十時～十二時

●資料請求先
同校 千九四七 小千谷市上ノ山四一四―二
入学ガイド・ホットライン
フリーダイヤル(無料)
☎〇二二〇―四〇五〇七〇